

— 熱中症に注意！！ —

熱中症の搬送者数が過去最多となっています

今年度、7月に入り熱中症（疑い含む）の搬送者数が急増し、過去最多となっております。

今後も、気象庁の予測では暑い日が続く見込みですので、熱中症に十分注意してください。

1 熱中症（疑い含む）救急搬送状況

（令和6年度は速報値） ※気温観測：中消防署

年度	搬送者数等						梅雨明け
	計	5月	6月	7月			
		人数	人数	人数	平均気温		
令和6年	211	10	23	178	29.5	38.2	7月18日頃
令和5年	147	19	29	99	28.2	36.0	7月16日頃
令和4年	107	6	48	53	27.1	35.4	7月23日頃

※搬送者のおよそ半数は65歳以上の高齢者（121 / 211人）

※発生場所は屋内と屋外でほぼ同数（屋内99人・屋外112人）

2 熱中症予防について

★水分補給と暑さを避けることが大切です

- ・こまめに適切に水分及び塩分補給をしましょう。
- ・室内にいるときも冷房等をつけ、涼しい環境で過ごしましょう。

★高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要です

- ・高齢者は、暑さや水分不足に対する感覚機能ならびに暑さに対するからだの調節機能も低下しているため注意が必要です。
- ・子どもは体温の調整能力がまだ十分に発達していないため、気を配る必要があります。

自分の身を守るだけでなく、危険な暑さから
自分と自分の周りの人の命を守ってください！

※詳細につきましては、▶二次元コードからご確認ください



3 クールシェアスポット・クーリングシェルター

熱中症予防のため、節電のため、積極的にご利用ください。

※詳細につきましては、▶二次元コードからご確認ください



【問合先】

- 1 消防救急課 主幹 井上（51-3101）
- 2 保健医療企画課 主幹 根本（39-9114）
- 3 ゼロカーボンシティ推進課 主幹 大塚（51-2409）

